

令和3年度 近畿ブロック地域支え合い推進セミナー

～地域の力で創る「生活支援」～

2022(令和4)年1月19日

「参加の力」で高める「地域の力」

～新たな担い手が生まれるための
働きかけを探る～

社会福祉法人 大阪ボランティア協会 理事長
認定NPO法人日本NPOセンター 顧問
認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 副代表理事
認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会 運営委員
同志社大学 政策学部 客員教授



早瀬 昇



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 1

講師の紹介

早瀬 昇 と申します

1965年設立(今年、創立57年目)の民間市民活動推進組織
大阪ボランティア協会(大阪ボラ協)で活動してきました。

1973年、電子工学を学ぶ大学生になったのに、ほんな
ことでボランティア活動に関わり、78年、大阪ボラ協に
就職。1991年から事務局長を務め、阪神淡路大震災で
は日本初の災害ボランティアセンターを創設。NPO法の
立法運動にも関わった後、後進に任せ、2010年に退職。
今はボランティアの立場で理事長を務めています。

大阪ボラ協で学んだ「参加の価値」を高めるため、2001年、
日本ボランティアコーディネーター協会の創設に参画。2009年
に寄付促進を進める日本ファンドレイジング協会の創設にも
参加。両団体の運営に深くかかわっています。

昨年度から同志社大学 政策学部の客員教授に就任。

大阪府吹田市在住で、一昨年度は自治会の会長も務めました。

★連絡先 hayase@osakavol.org



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 2

★本日のお話の構成★

1. 住民の自主活動の自由なスタイル
2. 「参加の威力」: 自発的だからこそその強み
3. 「参加の魅力」: 「参加」で生まれる市民の元気
4. 「参加のデザイン」を設定する
5. 内側から「やる気」が高まるために
6. 仲間づくり、連携…のための発想法



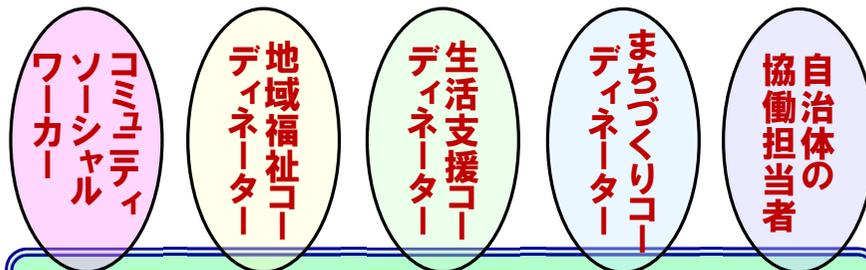
特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 3

ニーズを起点に「社会の宝」を活かし、解決策を創造する
ボランティアコーディネーターの立ち位置

※この人々に求められる共通の力は? ⇒ 「市民の社会参加」促進



ボランティアコーディネーション力



特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 4

★本日のプログラム★

時間	プログラム
13時	開会挨拶／オリエンテーション
13時5分	講演「参加の力」で高める「地域の力」
14時10分	休憩
14時15分	グループワーク/交流「オンライン・ワールドカフェ」 (3ラウンド。途中と終了後に2回休憩)
16時10分	全体討議(ワークの成果共有、質疑応答、まとめ)
16時55分	閉会(～17時)



1. 住民の自主活動 の自由なスタイル

～”重い・窮屈な”イメージを払拭し
「参加」のハードルを下げよう!

～「私」から始められる
“自由な”活動を楽しんで
もらおう!



1. 住民の自主活動の自由なスタイル

(1) ボランティアの堅いイメージの背景

理科系の私が、
大阪ボランティア協会に
就職したら…

父親が激怒

その時、母親が言ったのが…

「お父さん、

_____ になったと思って…」



1. 住民の自主活動の自由なスタイル

(2) テーマ、対象、ペースを選べる

お役所は「全体の奉仕者」。公平・平等が原則。
では、住民・市民の活動は…

・何をするか? ⇒ **選べないと…**

・どう、選ぶか? ⇒ **一番の鍵は ___ なテーマ**

※「野鳥の会」はあるけれど、「___の会」はない

ボランティア(自主的活動)は、___にしなくて良い!



1. 住民の自主活動の自由なスタイル

(3) 始めたら止められない…ことは

お役所では「朝令暮改」は禁忌。
始めたら止められない(続かない活動は進めない)。
では、住民・市民の活動は…

- ・「細く長く」の本当の意味は？
⇒長く続けるため、派手さは避け、地道にコツコツ△
⇒細くても____。長く続けたら____！○
- ・入しやすい「お店」のポイントは？
—「____やすい店」!!

1. 住民の自主活動の自由なスタイル

(4) 私を「開く」と「公共的」になる

～普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界

- ・コレクションの美術品を公開すると _____
- ・会社の福利厚生施設を開放すると _____
- ・休日に子どもと遠足。近所の子も誘うと _____

※ 韓非子によると、「公」と「私」の由来は…
「公」: 厶(三方囲み)を開く。「私」: 禾(実った稲)を囲む
PUBの語源は public(誰にも開かれている) house

1. 住民の自主活動の自由なスタイル

(4) 私を「開く」と「公共的」になる

～普段の暮らしの“すぐ隣り”にある世界

大坂の淀屋は、なぜ
「淀屋橋」を架けたのか？

____ たかったから！
(____ ほしかったから！)

自分のためでも、
みんなのためにもなれば
「公共的」になる



1. 住民の自主活動の自由なスタイル

(5) ボランティア活動は「恋愛」に似ている

- ① 自発的な無償(お金のためではない)の行為
- ② 対象を選べる
- ③ 好きであることが選択の重要な基準となる
- ④ 出会いは偶然によるところが多い
- ⑤ しんどいこともあるが自分自身も元気になる活動
- ⑥ 自分が満足するだけでは、うまくいかない
- ⑦ 止める時、別れる時が辛く難しい
- ⑧ 心移りをするところがある …

★ 違うのは、「開いている」か「閉じている」か

2. 「参加の力(威力編)」 ～自発的だからこそ“強み” 【自負心が高まるために】



1. 自発的だからこそ強み

- (1) 大震災で認知された市民活動の意義
- ・全体に拘束されないから「機動的」
 - ・それぞれの個性を活かすがゆえの「多彩さ」
⇒“みんな違う”から気づけ築ける多様な課題と活動
 - ・個々に応じることができるから「温かい」
⇒“不公平にならざるを得ない”ことが強みに!
 - ・自己責任で多彩な活動を「開発・創造」
 - ・「状況から逃げない」と、「トラブルの拡大抑止」

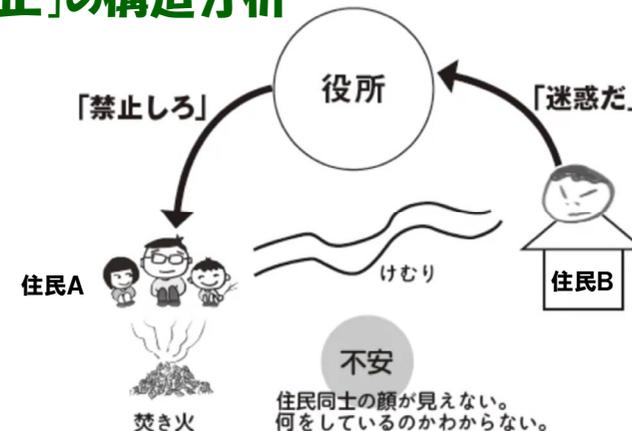
※ そこで、市民と行政の「協働」論が活発化…

多様な市民などの公共サービス



行政による公平な公共サービス

※ 真の課題: 「お客様化」社会の病い 「禁止」の構造分析



(出典)『遊びの生まれる場所』西川 正から

(2)人々が社会課題の「当事者」意識を高め、「自治」の街をつくる

～頑張る人が孤立しない 辛さを分かち合える街へ

存在として「当事者」である人(課題を抱える人々)

⇒対語: **第三者的に傍観**(他人事扱い)されやすい
・かわいそう、役所が悪い、私は関係ない…

行為により「当事者」になる人

⇒市民を「**当事者**」にしていく**市民活動**
自身で悩み工夫し解決する中で「**自分事**」に



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 17

(2)人々が社会課題の「当事者」意識を高め、「自治」の街をつくる

～頑張る人が孤立しない 辛さを分かち合える街へ

課題と出会う

(誘われたから／お付き合いで……)



自分自身のあい方、関わり方を「問う」

(問題をどう受け止めれば良い? 自分は関係ないのか?
将来の自分の問題ではないのか? 自分が活かさないか…)



自分が関われば変えられる! …かもしれない…

(変える力が自分にある…かもしれない。よし、やろう!)



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 18

※ 市民が「参加」することの意義

『日本人は民主主義を捨てたがっているのか?』(想田和弘著)から



想田和弘さん

政治家は政治サービスの提供者で、主権者は投票と税金を対価にしたその消費者であると、政治家も主権者もイメージしている。そういう「**消費者民主主義**」とも呼ぶべき病が、日本の民主主義を蝕みつつあるのではないかと。

主権者が自らを政治サービスの消費者としてイメージすると、政治の主体であることをやめ、受け身になります。そして、「不完全なものを買わぬ」という態度になります。それが「賢い消費者」による「あるべき消費行動」だからです。

最近の選挙での低投票率は、「買いたい商品＝候補者がいないから投票しないのは当然」という態度だし、政治に無関心を決め込んでいるのは、『賢い消費者は、消費する価値のないつまらぬ分野に関心を払ったり時間を割いてはならない』という決意と努力の結果なのではないかと思うのです。



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 19

(3)「無償」の営みであることに積極的意味も

① 仲間・同志の関係を築きやすい

～「ギブ&テイク」の関係を越えたつながり

※「雇用主vs労働者」「債権者vs債務者」という対抗関係になりにくい

② 金の切れ目が縁の切れ目…にならない「絆」関係

③ 金銭的尺度での評価を避けられる

～「価格づけ」による評価や比較がなされない

④ 自己利益を超えた共感性の高い発信ができる

～「私欲がない」行為ゆえの発信力・共感力・調整力

※ **お金がからむ寄付集めや利害調整などでは、特に重要!**



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



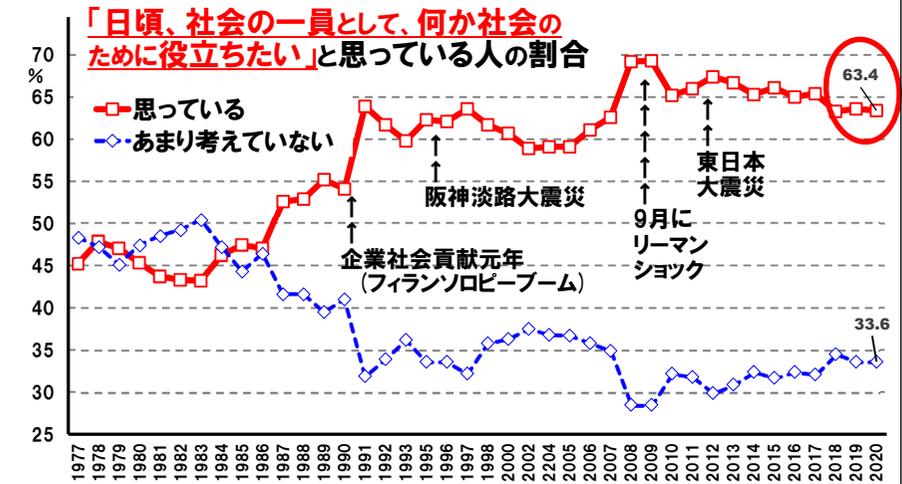
社会福祉法人
大阪ボランティア協会 20

3. 「参加の力(魅力編)」

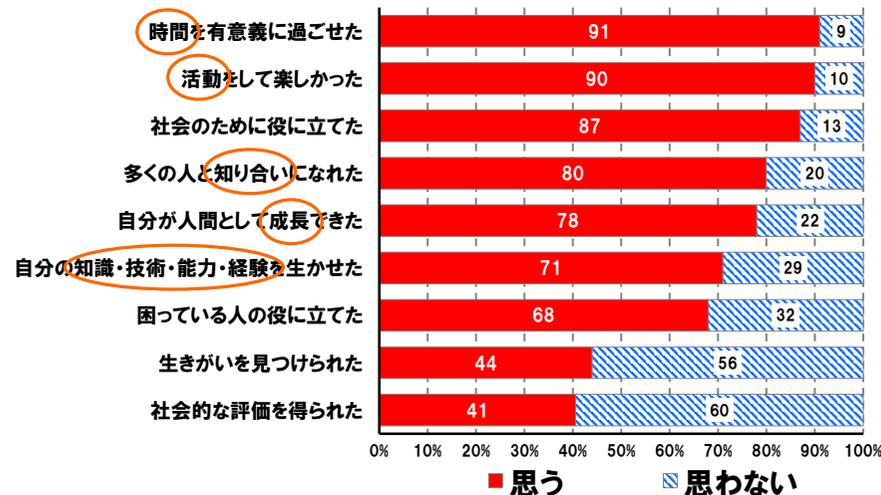
～「参加」で生まれる
市民の元気
【活動意欲が高まるために】



※人々には社会貢献に参加する意欲がある



※ ボランティアも活動で「メリット」を得られる



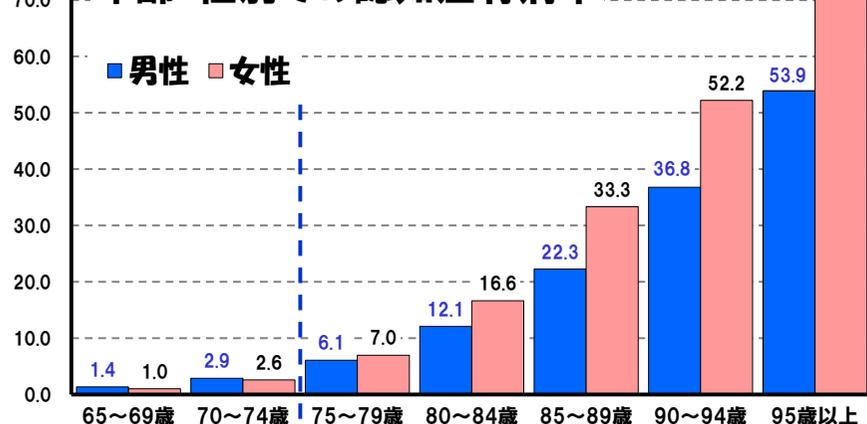
2. 活動する人自身も、元気になる

～人口構成は、どう変化するか

	2020年	2025年	2030年
総人口	1億2,533万	1億2,254万	1億1,913万
		△278万 △2.2%	△620万 △4.9%
0～14歳	1,508万	1,407万	1,321万
		△100万 △6.6%	△186万 △12.4%
15～64歳	7,406万	7,170万	6,875万
		△236万 △3.2%	△530万 △7.2%
65歳～	3,619万	3,677万	3,716万
		58万 1.6%	262万 7.7%
65～74歳	1,747万	1,497万	1,428万
		△250万 △14.3%	△320万 △18.3%
75歳～	1,872万	2,180万	2,288万
		308万 16.5%	416万 22.2%

2. 活動する人自身も、元気になる

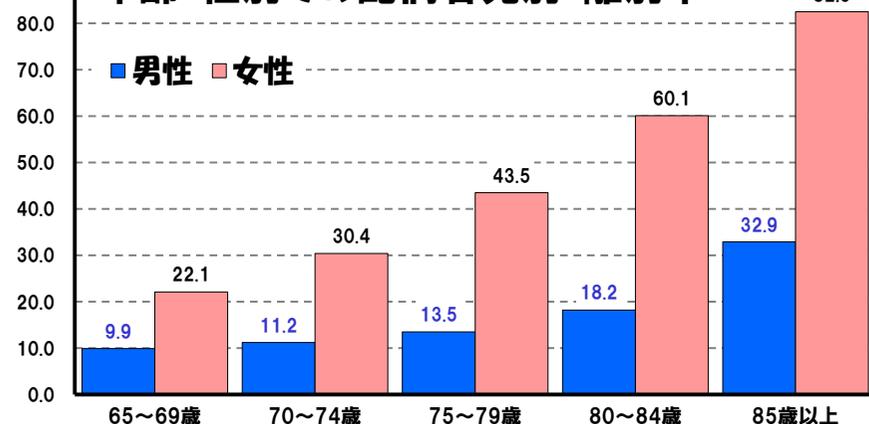
年齢・性別での認知症有病率



東京都健康長寿医療センター
の報告書(2014年3月)から

2. 活動する人自身も、元気になる

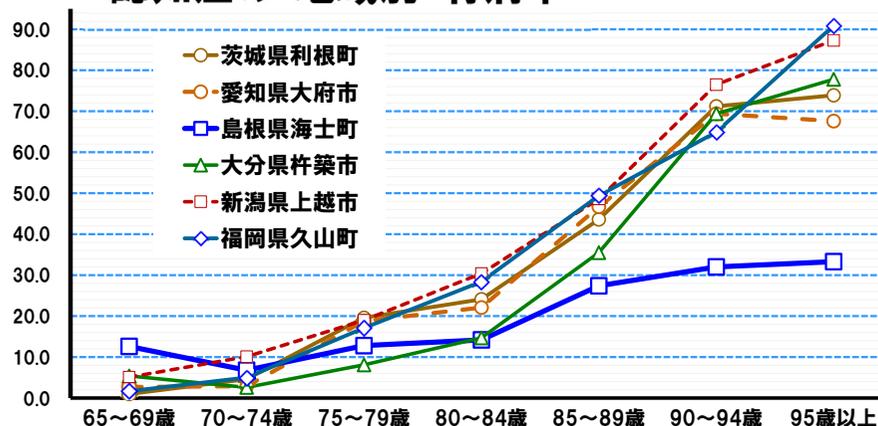
年齢・性別での配偶者死別・離別率



国勢調査
(2015年)から

2. 活動する人自身も、元気になる

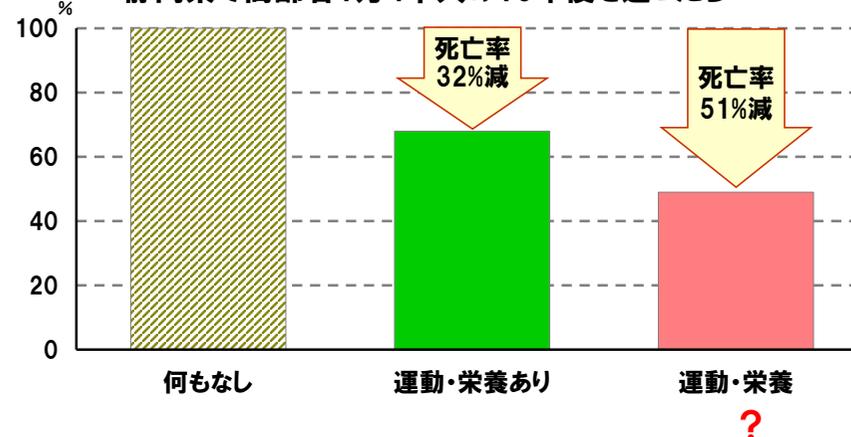
認知症の“地域別”有病率



総合研究報告書「都市部における認知症
有病率と認知症の生活機能障害への対
応」(2013)から

2. 活動する人自身も、元気になる

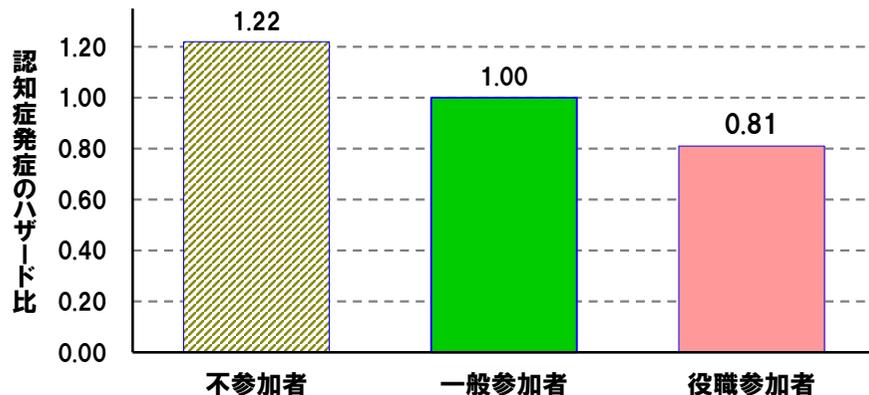
静岡県で高齢者1万4千人の10年後を追ったら…



「静岡県高齢者コホート調査に基づく運動・
栄養・社会参加の死亡に対する影響につ
いて」(第58回 東海公衆衛生学会)

2. 活動する人自身も、元気になる

地域活動の参加状況と認知症発症率の関係
(愛知県内13,850人調査。前期高齢者の場合)

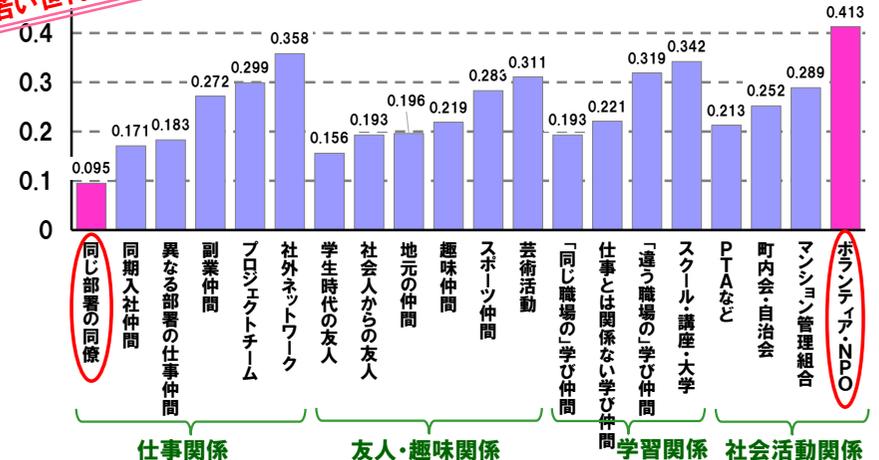


An additive effect of leading role in the organization between social participation and dementia onset among Japanese older adults: the AGES cohort study (Geriatrics: Boston Medical Center 2017 根本裕太他)

※ ボランティア活動参加は「前向き」を促進

若い世代に!!

所属コミュニティと「キャリア展望」の関係(因子得点)



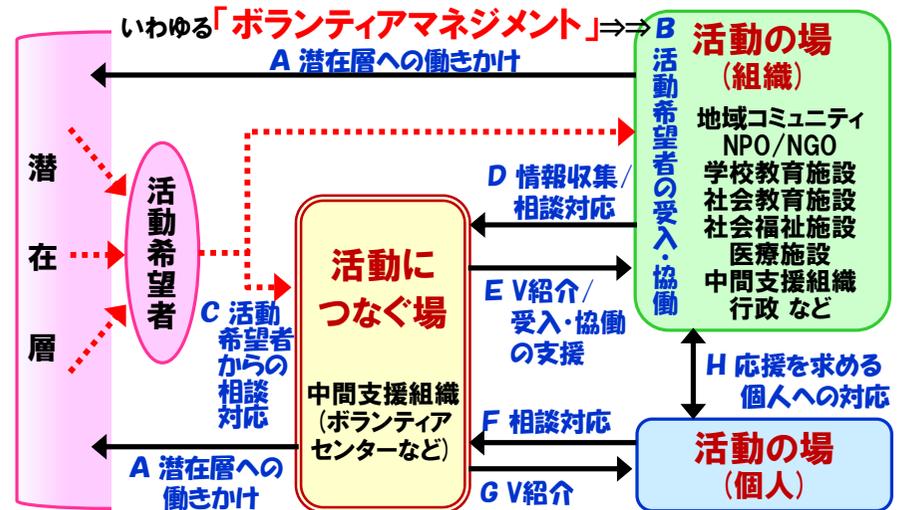
(出典)リクルートワークス研究所(2018)「人生100年時代のライフキャリア」の掲載図を元に一部修正。「キャリア展望」とは、今後のキャリアの見通しが開けている状態。数値は今後のキャリアや人生について「自分で切り開いていける」「前向きに取り組んでいる」「明るいと思う」の合成変数。 30

4. 「参加のデザイン」を設定する

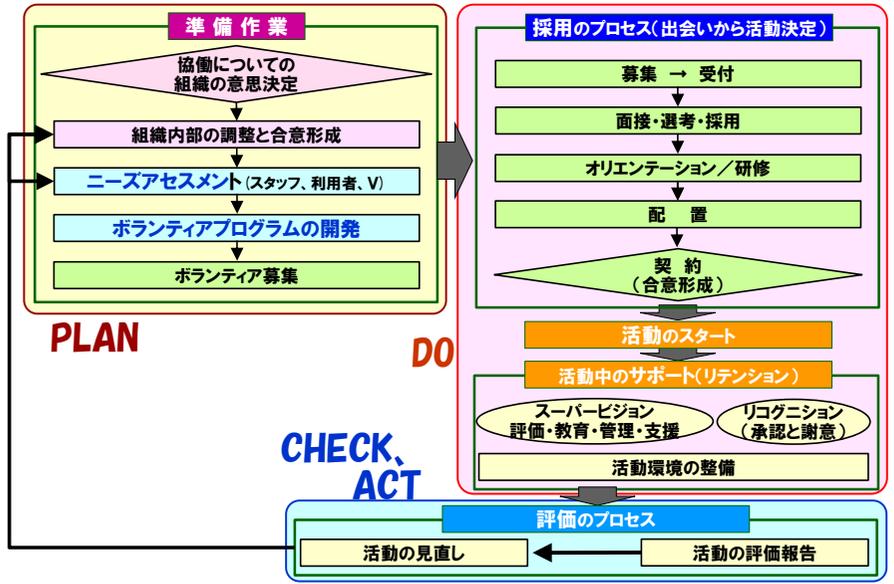
～ みんなが動き出す鍵



※ ボランティアコーディネーションの全体像



ボランティアマネジメントの流れ



ボランティアと協働(市民の参加促進)する起点で

最初の、そして最も重要な問いかけは、
「なぜ、我々はボランティアを求めるのか」
 というものである。

ボランティアに魅力を感じて、
 お金の有無に関係なく、
第一の選択肢として(First Choice)
 ボランティアを選ぶ理由が
 確かにあるはずである。

故スーザン・エリス

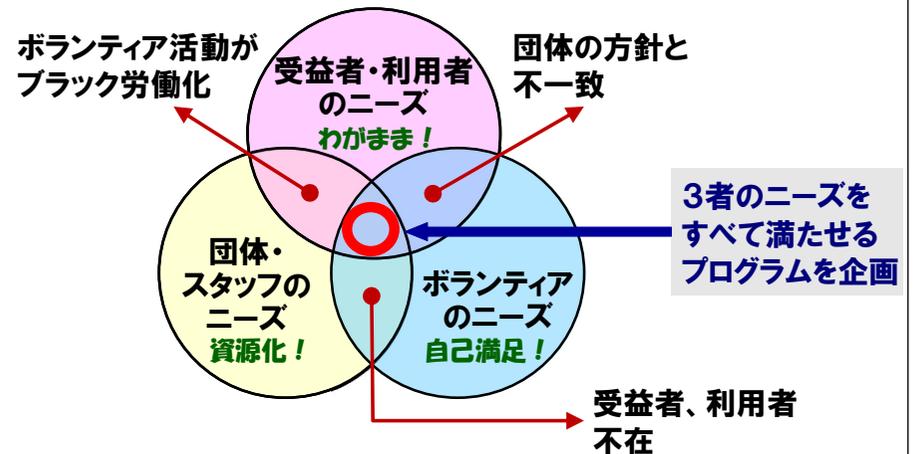


(1) 働きかける前の準備作業

① 住民参加についての意思決定

- なぜ、住民の参加/市民との協働を進めるのか
 なぜ、住民/ボランティアと協働しようとするのかの
理由を文書化する形で明確化する
- 第一の選択(first choice)**として住民の参加
 ボランティアとの協働を選ぼうとする理由を確認
- 住民の参加の力/ボランティアだからこそ持っている
強みを活かせるように「参加のデザイン」の方針確立

② 課題とニーズ分析(3者のニーズの融合へ!)



【事例】「対話の場」で課題発掘(入口は情報交換)

たとえば、**大阪市鶴見区「榎本地域活動協議会」**では

・毎月第4火曜 午後7時から地域の福祉会館で、えのもと井戸端会議「あいより」で、街の人々のあれこれを、自由に情報交換。

- ①出席したい人が出席したときに
- ②議題をみんなで持ち寄る
- ③合意形成を目的としない…が特徴

※ 会議の様子は Twitter で実況中継。新たな地域活動の起点に。



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 37

(1) 組織の準備作業

③ 参加のプログラム開発

- ・三者のニーズをもとに、さまざまな**プログラム案を企画し**、その中から実行に移せそうなものを**選び**、どのような活動が組み立てられるかを考え活動として作り上げる
- ・「求人票」を作成することと似ている。ただし、活動を通して得られるものは給与ではなく、住民/ボランティアが得る「**メリット**」の形態が違う



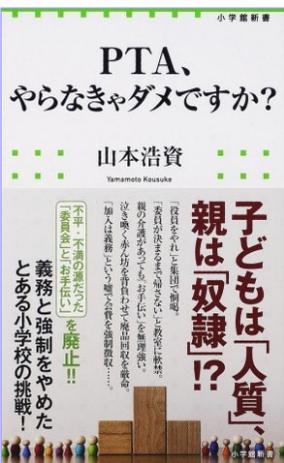
特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 38

【事例】役割を小分けにし、PTAを大改革



東京都大田区立嶺町小学校のPTA会長に、毎日新聞記者 山本浩資氏が就任してからの大改革の物語

ピーター・ドラッカーの『**マネジメント**』を参考に…

PTAをPTO(保護者と先生による楽しむ学校応援団)に改称

(役員だけが汗をかきがちな)役員会を「**ボランティアセンター**」に改組!

多彩な**保護者がサポーター**として活躍
(多数の**単発活動**で参加のハードルを下げる)

※義務と強制やめ、ワクワク運営!!



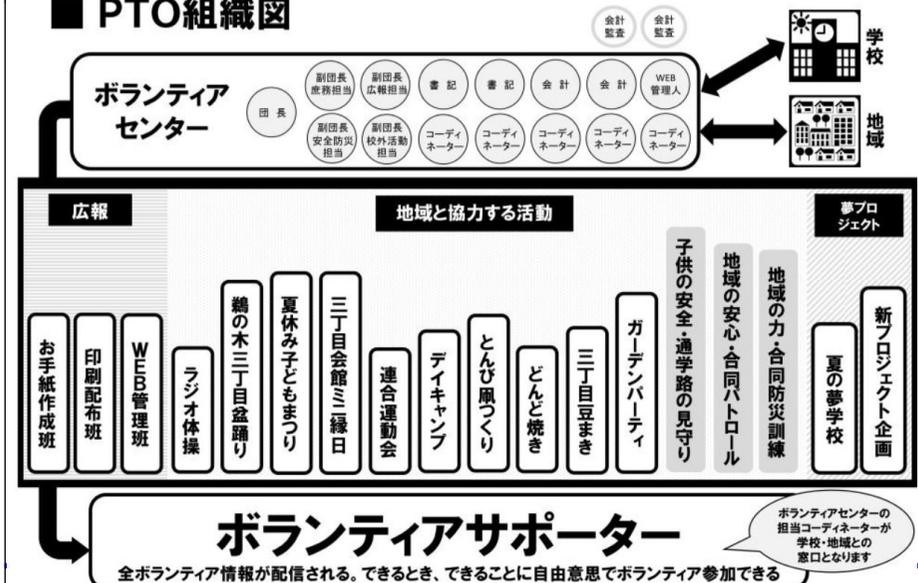
特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 39

PTO組織図



ボランティアサポーター

全ボランティア情報が配信される。できるとき、できることに自由意思でボランティア参加できる

嶺町小学校PTO・ホームページから



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 40

フリーサポーター

人手不足の助っ人

【作業日・時間】
できるとき

【内容】
・人手不足の行事・活動があった時に、メルマガでサポーター不足情報を配信。都合のつくフリーサポーターがポイントでヘルプ！

お手紙作成班

自宅作業

【作業日・時間】
できるとき

【内容】
・ポラセンからのチラシやお手紙作成(ワード、エクセル、パワーポイントなどを使って)

夏のキラキラスクール

子供たちにこんな講座、受けさせてあげたい！

学校からの依頼を受け、講座開設までの企画・運営を行う

【実施日・時間】
夏休み前半

【事前準備】
4月スタート

学校との調整(日付、場所、備品)
講師・窓口サポーターのコーディネート
書類作成

※当日の運営は窓口サポーターと講師が行う。

写真好きの方、出番です

カメラマン

【作業日】
PTOイベントや運動会などの学校行事

【内容】
・PTO代表として写真撮影。
撮った写真はふぁんふぁんにどこに掲載

子供と一緒に防災力のアップ

合同防災訓練

【実施日・時間】
10月ごろ、日曜日
9～12時

【事前準備】
スタンプカード作成、配布

【当日】
受付補助、スタンプ係、お土産準備

地域で防犯歩いて気づくこと

合同ハトロー

【実施日・時間】
1学期に1回
14～15時半

【内容】
警察、町会、近隣学校と一緒に近隣をパトロール

ボランティア初心者◎

印刷配布班

【作業日・時間・場所】
平日昼間、学校にて

【内容】
・ポラセン発行のチラシやお手紙を印刷・配布、印刷日はポラセンからメールで配信

工作好き集まれ！

作ってわくわく班

【作業日・時間】
できるとき

【内容】
・PTO主催のイベントで使用する小道具づくりや、手書きのPOP作成など。作業日はポラセンからメールで配信

夢プロジェクト

プロジェクトメンバーが集まれば実施
集まらない場合は実施しない

【既存プロジェクト】
■ 通年型夢学校
■ ベルママ・・・ベルマーク収集

【過去実施プロジェクト例】
■ 逃走中
■ 学校に泊まる
■ オールスター感謝祭

※新規プロジェクト企画はボランティアセンターまでご相談ください。

【自発性にこだわらない】寄付は待つものではない

寄付をしなかった理由

理由	割合 (%)
2. 余裕がなかった	20.6
3. 用途が不明だった	17.0
4. 方法が分からなかった	9.4
5. 団体が信用できなかった	7.2
6. 集め方に抵抗があった	4.3
7. 趣旨に賛同できなかった	3.2
8. 税金ですべきだと思う	2.9
分からない	22.0

(福) 中央共同募金会「共同募金とボランティア活動に関する意識調査」1995年9月

NEVER ASK, NEVER IN しかし、戦略が必要

特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association

社会福祉法人
大阪ボランティア協会 42

【自発性にこだわらない】誘うことの大切さ

高齢未活動者が参加のきっかけとなると思うもの

きっかけ	割合 (%)
友人・仲間の勧め	26.4
個人の意思	14.1
自治会等の勧め	13.0
家族の勧め	8.3
活動団体からの呼び掛け	7.1
広報やHP等からの情報	4.0
その他	10.0
特になし	40.7

内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」から (2015年度)

社会福祉法人
大阪ボランティア協会 43

5. 内側から「やる気」が高まるために

特定非営利活動法人
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association

社会福祉法人
大阪ボランティア協会 44

1. 『モチベーション3.0』 Drive The Surprising Truth about What Motivates Us

コンピューター同様、社会にも人を動かすための基本ソフト(OS)がある。



ダニエル・ピンク

「モチベーション 1.0」

⇒生存(サバイバル)を目的とする人類最初のOS

「モチベーション 2.0」

⇒アメとムチ=信賞必罰に基づく、与えられたモチベーション(外発的モチベーション)によるOS。ルーチンワーク中心の時代には有効だったが、21世紀を迎えて機能不全に陥る。

「モチベーション 3.0」

⇒自分の内面から湧き出る「やる気!」(ドライブ)に基づくOS。活気ある社会や組織を作るための新しい「やる気!」の基本形。



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 45

※ アメとムチの致命的な7つの欠陥

～目先の報奨プランや成果主義は有害な場合も

1. 内発的モチベーションを失わせる:アンダーマイニング効果
2. かえって成果が上がらなくなる:ソーヤー効果(報酬が遊び(しなくても良いのにする)を仕事(しなくては行かないからする)に変える)が生じる
3. 創造性をむしろむしばむ:報酬は焦点を狭める(右脳を抑制してしまう)
4. 好ましい言動への意欲を失わせる:金銭的報酬が利他的な行動を抑え、善行を積みみたいという自発的欲求を阻む
5. ごまかし・近道・反倫理的行動を助長(罰金制の負の側面)
6. 依存性がある:報酬がなければ行動しなくなり、より高額な報酬を求める
7. 短絡的志向を助長する:短期的成果で良しとしてしまう



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 46

2. 内発的な「意欲」が高まる3つの鍵

(1)「自律性」を高める

- ・自己決定:自ら選択・企画する。「駒になるより指し手になる」

(2)「熟達」できる状況を作り出す

- ・達成感・有能感:困難を克服し、うまく成し遂げられる
- ・成長感:成長欲求を満たす。活動を通じて一皮むけた感覚
新たな出会い……を得られる状況を作り出す!!

(3)大きな「目的」につなげられる環境を作る

- ・有用感:社会的に意味のある活動を、より自分らしく、
自分の強みを活かして行動できている



特定非営利活動法人

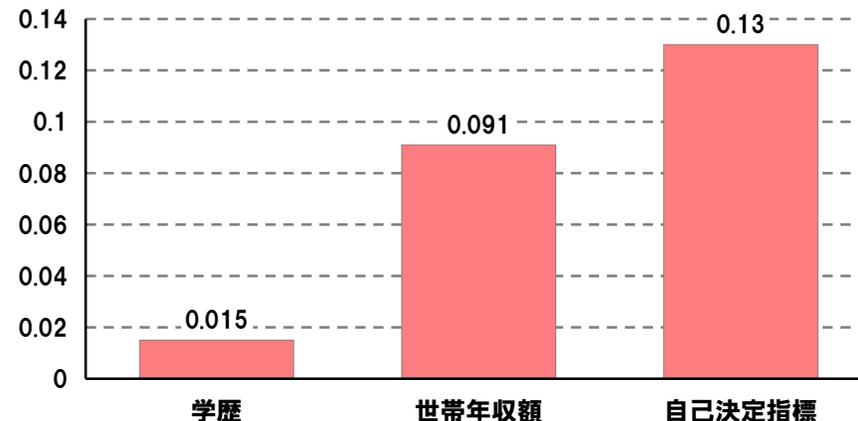
日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)
Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 47

※ 自ら選べることの重要性

主観的幸福感を決定する要因の重要度(標準化係数)



(出典)幸福感和自己決定-日本における実証研究(西村和雄、八木匡。経済産業研究所、2018)「標準化係数」とは影響の度合いを示すもの。最大±1、最小0で、1に近いほど影響力が大きいと言える。



社会福祉法人
大阪ボランティア協会 48

(1)「自律性」を高める…には ～参加促進の鍵:自ら**選択・企画**できる!

- ① **メンバーみんなの力(参加の力)を信じる!**
 ~Motivation2.0 自由を与えると人は怠ける
 ~Motivation3.0 人は本来、責任を果たしたいと望んでいる
- ② **メンバーに任せる!**
 - ・メンバーに**“選ぶ/企画する”機会を保障する。**
 - ・小チーム化で個々の裁量権拡大する。
 - ・最初は、参加するプロジェクトを小さくする(有期など)

【事例】小グループに任せ、それぞれ工夫

★自治組織がNPO法人に(多彩な社会貢献)

夢未来くんま(静岡県浜松市天竜区)

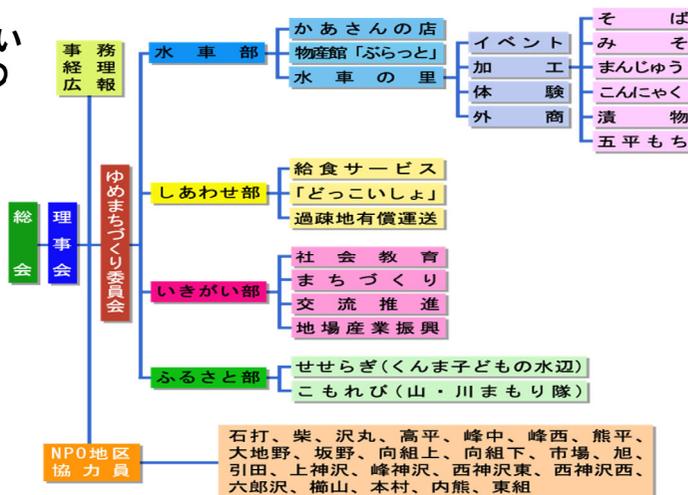
・区内全戸加入のNPO法人設立

- ・1955年の人口2512人をピークに減少し1,000人を下回って婦人会、青年団、消防団等が弱体化
- ・危機感から、86年に区内全戸加入の「熊地区活性化推進協議会」を組織し、村おこし活動を進める。
- ・2000年、「夢未来くんま」としてNPO法人化。小グループに



★自治組織がNPO法人に(自由な社会貢献)。

「夢みらいくんま」の組織図



(1)「自律性」を高める…には ～参加促進の鍵:自ら**選択・企画**できる!

- ③ **価値観(こだわり)/ビジョン(目標)を共同で策定し共有する!**(ここでも、企画段階から参加の機会を)
- ④ **活動の背景、環境、意味の情報を共有!**
- ⑤ **企画を練る場の雰囲気を開放的に!**
 - ・「**心理的安全性**」が守られる活動環境を作る
 ~松下幸之助「リーダーの条件は**愛嬌**があること」
 - ・スタッフのコーディネーション力も問われる

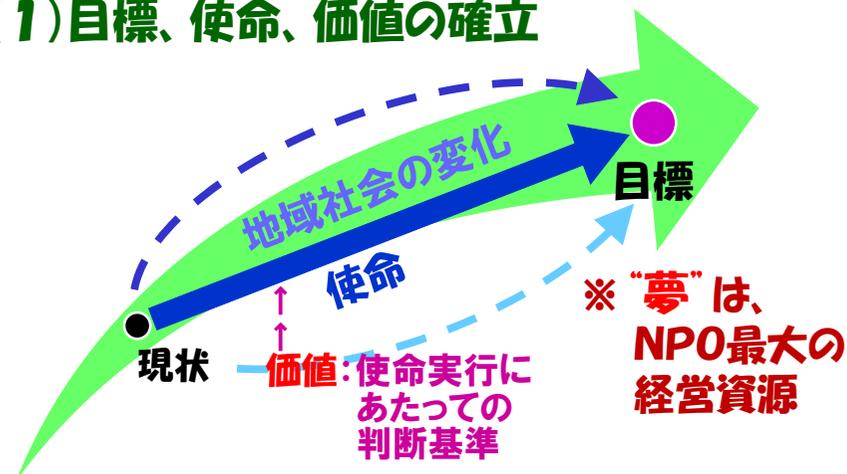
※ 組織の基盤 目標設定

(1) 目標、使命、価値の確立

- 目標 (ビジョン)** 目指すべき方向性 / 将来あるべき姿 (将来像)
「私たちが成功したら、社会はこうなっている」
★バックキャストिंगの起点
- 使命 (ミッション)** 組織の使命 / 存在意義
「私たちは〇〇するために存在している」
- 価値 (バリュー)** 価値、行動の判断基準
目標や使命を
「何を大切にしながら達成するのか」

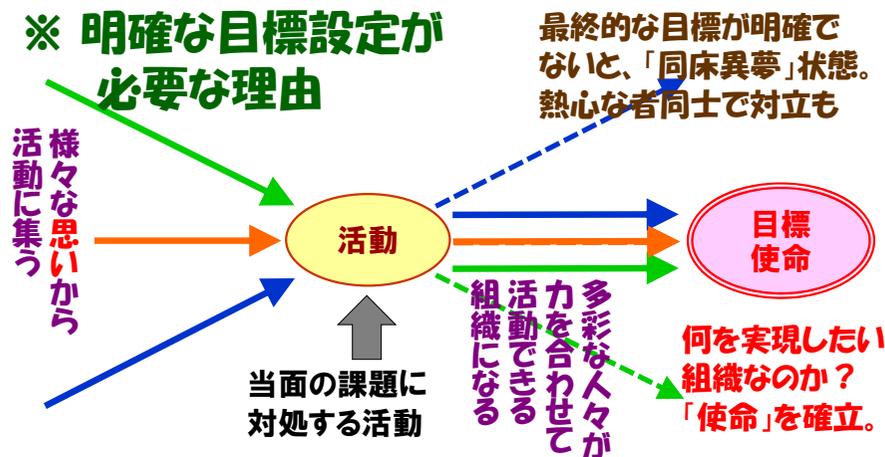
※ 組織の基盤 目標設定

(1) 目標、使命、価値の確立



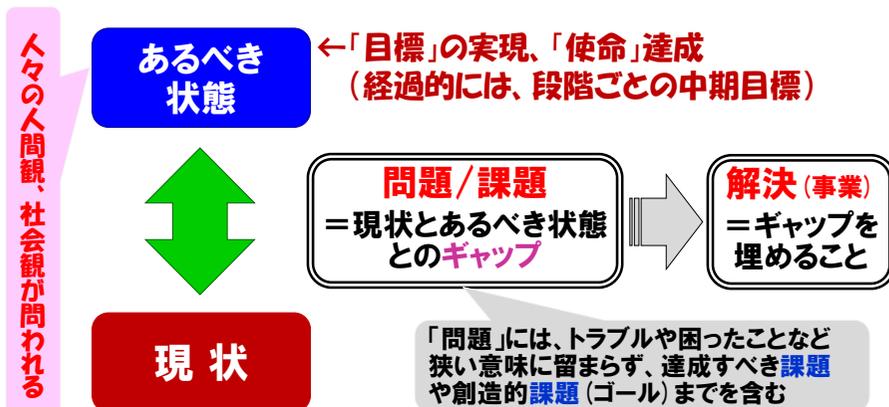
※ 組織の基盤 目標設定

※ 明確な目標設定が必要な理由



※ 組織の基盤 目標設定

(2) 目標 / 使命から具体的事業へ

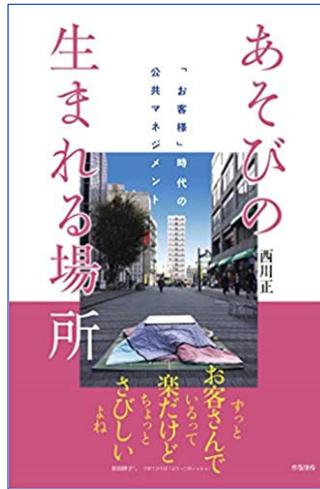


※ 楽しい活動には「正解」がない！

「遊び」であった行為が、しなければならぬこと（正しいこと）になると、「仕事」になってしまい“内発的動機付け”が弱まってしまう!!



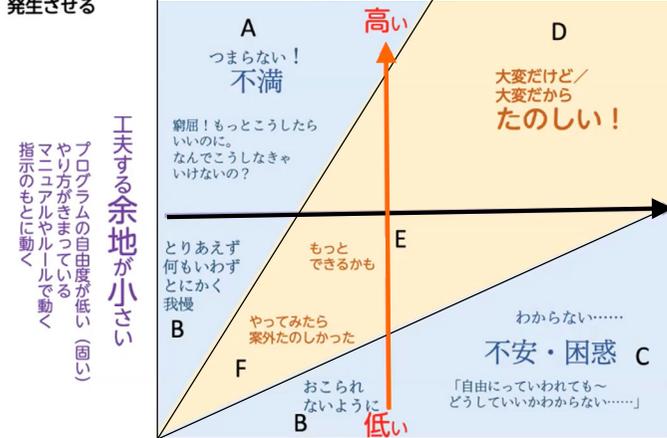
西川 正さん(ハンズオン埼玉)



ちょうどいい「余地」があることが遊ぶ(やってみる)を発生させる

(個または集団としての) **挑戦できる自負がある**
遊ぶ/いじる **力** 自己決定の力 (リスク負う)
工夫する

「正しい」ものが決まっている



未知なることに挑戦できる

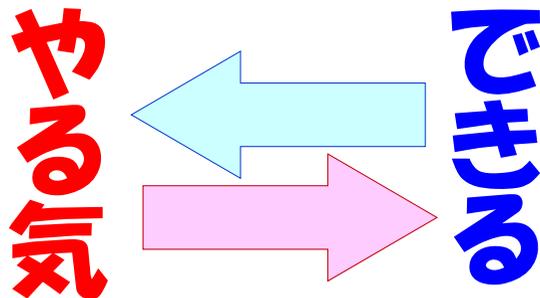
プログラムの自由度が高い(楽いかな)やり方がきまっている(マニュアルやルールが少ない。自分(たち)で決める)

自由にできる自信がない

西川 正さん(ハンズオン埼玉)の資料から



(2) 「熟達」できる状況を作り出す



- ・ 達成できた実績を共有し合うこと!
- ・ 少し難しい(ちょっと危ない)目標設定がカギ



(3) 大きな「目的」につなされる環境を作る

「意味」を求める病い

「わたし」のこの存在は他者からの承認にかかっている/特定のだれかにとってじぶんの存在がどのような意味をもって、いるか、その確認がひとの存在を支える
(「しんがいの思想」から)



鷲田清一氏

【意味づけ】が分かると
主体性・自発性が喚起され、
個性を活かした創造が誘発される



Q1. 大きなイベントの実施にあたり、ボランティアを募集した際、イベントに直接かかわれない**会場の案内役を担うボランティア**に対して、どのような配慮(対応・声掛け)が必要でしょうか?

Q2. ある地域の高齢者大学校で学生の皆さんが地域の草刈り活動をする際、**ある内容の事前学習**をすると俄然、学生さんの皆さんの活動意欲が高まるそうです。どのような事前学習をするのでしょうか?

※「NPO3.0」(JFRA・鶴尾雅隆氏)に向けて

NPO 0.0 組織としての体をなしていない

NPO 1.0 **きっちり**と事業し運営している

NPO 2.0 寄付集めやボランティアの**参加**を得て事業を進めている

NPO 3.0 ボランティアや支援者などNPOに関わっている人々が**自発的・誘発的に改革や創造**を始める“**誘発的創造**”が起こる

6. 仲間づくり、連携… のための発想法 ~「頑張る人ほど 疲れてしまう」問題



1. 自発的であるがゆえの弱点

(1)「**基準がない**」がゆえの“**しんどさ**”

自発的**活動**には、とても自由な面があるけれど…
(言われなくても、する! 言われても **納得しないと、_____**)

↓
ゆえに、ここまですれば良いという「基準」がない

行政⇒ 全体の合意(議会の了解、法令)

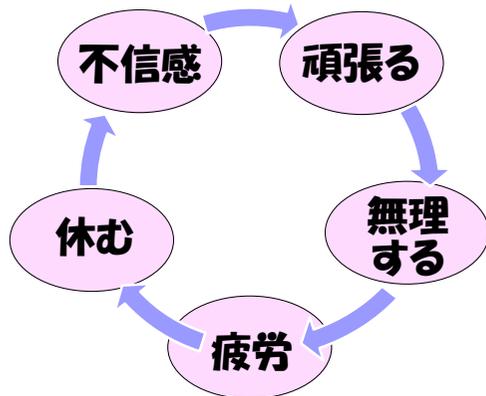
企業⇒ 経営者の自由な判断。だけど、**損は_____**

市民活動⇒ 周囲の理解がなくとも**一銭の得にならなくても、やる時は_____**

(1)「基準がない」がゆえの“しんどさ”

★頑張る人ほど…
疲れてしまう！

『疲労と不信の悪循環』
(早瀬 昇)
『自発性パラドックス』
(金子都尊)
『惜しみなく愛は奪ふ』
(有島武郎)



(2)「疲労と不信の悪循環」対策は？

★では、
対策は？



2. 弱点克服のための発想法

(1)多様な志向が並立・連携するために

熱心なグループほど「仲間割れ」をしやすい！

・「仲間割れ」をしない2つのパターン

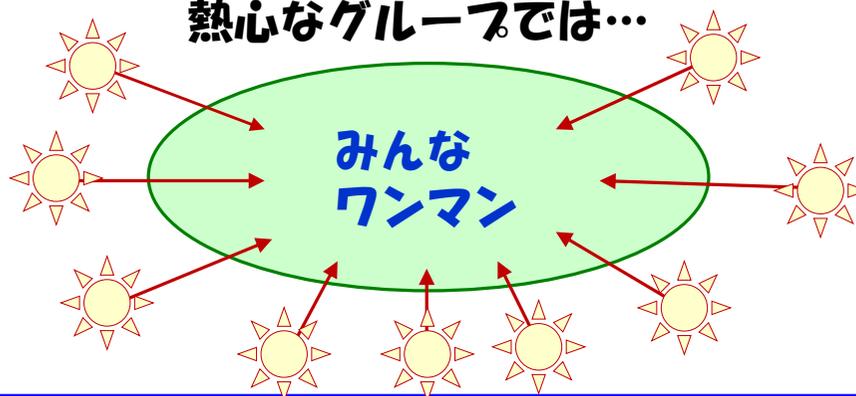


- ・あまり熱心ではない
- ・強力なドンがいる

2. 弱点克服のための発想法

(1)多様な志向が並立・連携するために

熱心なグループでは…



2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

かつての組織論だと…

一致団結！

**「敵」に立ち向かうには有効
だけど…**



2. 弱点克服のための発想法

(1) 多様な志向が並立・連携するために

元気なネットワークづくりの秘訣は…

※ そもそも「ネットワーク」は
組織ではありません。「面識」です
正しさを切り捨てず、
あれもこれも(複数並立、歓迎を！)

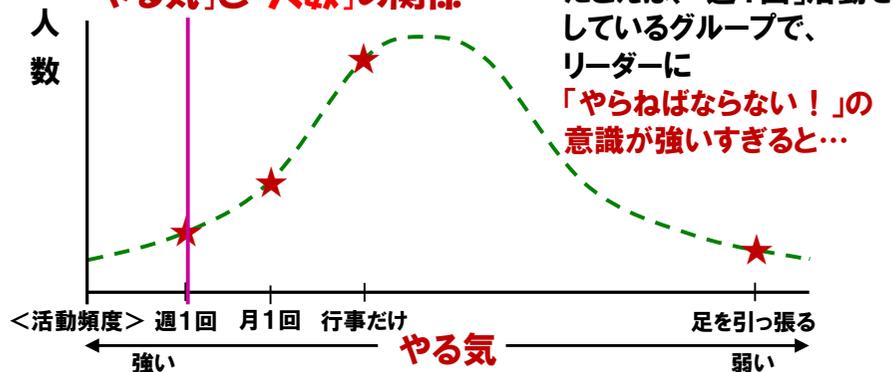
和して、同ぜず ← 論語にある
「孔子」の言葉。



2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために

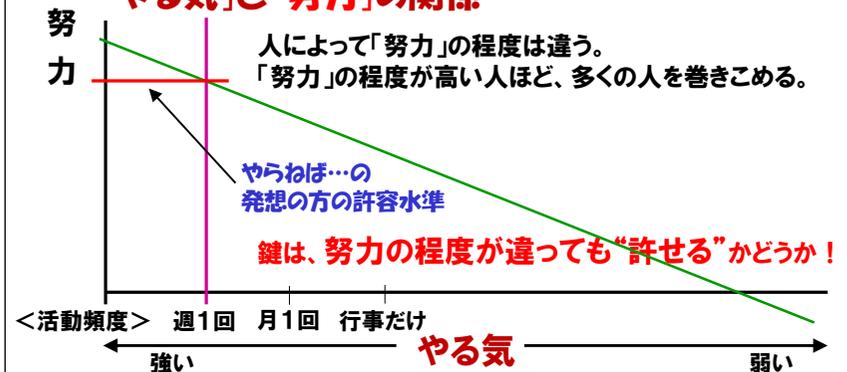
「やる気」と「人数」の関係



2. 弱点克服のための発想法

(2) 多様な仲間の輪を広げるために

「やる気」と「努力」の関係



※「孤独」とは
愛することを_____状態!!

失恋とは…

子どもが…

自分自身が…

愛されることは大切。だけど…



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

73

「参加の力」を活かす
ボランティアマネジメント力
を高める力を磨き

- 「参加」で課題解決に取り組む機会を提供し
- 「当事者意識」を抱く人々の輪を広げ
- 「参加」による人的基盤を固め
- 「信頼」し合い「助けられ合える」福祉社会を
築きましょう!



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

Japan Volunteer Coordinators Association



社会福祉法人

大阪ボランティア協会

74